

川口鑄物産業の文化財

宇田 哲雄

1. 鑄物(鑄造)とは何か？

- ・ 金属を溶解して型に入れて行う加工法
- ・ 鑄物師 (いもじ、いものし)
- ・ 古くは銅鐸・銅鋳・銅鏡・大仏など
- ・ 漂泊から定住へ～猿貝北遺跡
- ・ 他の鑄物産地～ (例)「西の桑名に東の川口」

2. 川口鑄物業の発祥について

- ・ 川口鑄物発祥の諸説
 - ・ 天慶3年(940)藤原秀郷にしたがった鑄物師が定着
 - ・ 建久年間(1190～99)南宋から渡来した鑄物師が定着
 - ・ 暦応年間(1338～42)河内国丹南鑄物師が定着
 - ・ 戦国期、岩槻の渋江鑄物師が移り住む
- ・ 川口の風土
 - ・ 荒川岸から採れる砂や粘土が鑄型に適していた。
 - ・ 芝川舟運や街道によって、原料・燃料・製品の輸送に便利であった。
 - ・ 江戸という大消費地に隣接していた。
 - ・ その他……浦和水脈

○鍋屋の井 (『遊歴雑記』・『江戸名所図会』)

- ・ 京都真継家が統率

○真継家許状 (永瀬家文書)

- ・ 宝暦13年(1763)大川(永瀬)文左衛門・治郎右衛門・理右衛門・儀左衛門の4人が、佐野天明(栃木県佐野市)の鑄物師の子孫として許状を受ける。

- ・ 金山権現社

- ・ 室町時代末、美濃国南宮大社から勧請され、金山彦命・金山姫命を祀る。
- ・ 鑄物職人の裸参り
- ・ 明治42年、川口神社へ合祀される。以後、稻荷信仰が隆盛する。

◎市指定有形文化財(建造物)八雲社社殿(旧金山権現社社殿)川口神社

3. 梵鐘・鰐口・天水桶の生産

- ・古来より梵鐘・鰐口等の青銅鑄物が生産され、明暦の大火（1657）以降、天水桶（銑鉄鑄物）の生産も盛んとなる。
- ・伝統的惣型造型法により製造

＊寛永15年銘梵鐘（東京都武蔵村山市・真福寺）

- ◎県指定有形文化財（工芸品）銅鐘（寛永18年）…錫杖寺
- ◎市指定有形文化財（工芸品）弘化二年銘鰐口 …善光寺
- ◎市指定有形文化財（工芸品）明和三年銘半鐘 …西光院
- ◎市指定有形文化財（工芸品）天保十年銘天水鉢 …文化財センター
- 旧国立霞ヶ丘競技場の聖火台

4. 日用品鑄物（鍋・釜・鉄瓶）の川口

- ・「比の駅の南うら町筋に釜屋数十件あり、但し鍋のみ鑄家あり、釜のみ作る舎あり、或は鉄瓶または銚子、…」
（文政年間、十方庵敬順『遊歴雑記』）

- ・伝統的惣型法造型法により鑄造、分業も行われていた。
- ・薄肉鑄物技術。

- ◎川口鍋釜製造図（明治12年 小林清親）
（元市指定有形文化財（典籍古文書）川口関係の版画付木曾街道）
- ◎市指定有形文化財（工芸品）鉄製火鉢（明治三十五年一月喜道造ノ銘アリ）
- 大正3年の鑄物製品一覧（372品目・1754種類）

5. 株仲間廃止と在郷鑄物商人の台頭

- ・鑄物問屋や大きな鑄物屋が権力をもつ。
 - ◎市指定名勝 …旧鑄物問屋鍋平別邸庭園
 - ◎国登録有形文化財 …川口市母子福祉センター（旧鑄物問屋鍋平別邸）
 - 鍋平ポスター（嶋崎家文書）

6. 幕末の大砲鑄造

- ・海防のため、幕府や諸藩が大砲鑄造を発注。
 - ◎市指定有形文化財（歴史資料）大砲設計図 …個人蔵
 - ◎市指定有形文化財（典籍古文書）高島秋帆褒状 …個人蔵
 - ◎市指定有形文化財（典籍古文書）増田家鑄造関係古文書 …個人蔵

7. 明治の技術革新～西洋新技術の導入と近代資本主義産業への転換

- ・原料 …たたら銑から高炉銑へ
- ・燃料 …木炭からコークスへ
- ・造型法 …伝統的惣（焼）型法から西洋式生型法へ
- ・溶解炉 …甗炉からキューポラへ
- ・送風 …たたら送風から動力送風へ
 - 薬研屋・永瀬庄吉の貢献
 - ◎市指定有形民俗文化財 だるま鞆（踏み鞆）
- ・工場の勃興～官営工場から民間工場へ
- ・木型業・機械業など関連業種の成立
 - 川口近代鋳物産業構造図

8. 土木建築鋳物の生産

門扉・鉄柵・水道用鉄管（川口鋳物鉄管）の生産

- 永瀬鉄工所の鋳鉄管生産～「西の久保田に東の薬研屋」
- ◎重要文化財学習院女子大学正門
- ◎国宝旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）正門
- ◎重要文化財旧浅香宮邸（東京都庭園美術館）正門

9. 軍需生産の拡大

- ◎市史跡 凱旋橋跡付凱旋橋の碑

10. 石炭ストーブの生産

- ・安政年間に外来した西洋ストーブを、日本的に開発・普及させ、川口鋳物が約80%までを生産し、北海道など寒い地方を中心に使用された。川口はストーブの特産地であった。川口の薄肉鋳造技術が注目される。

- ◎市指定有形文化財（歴史資料）福祿石炭ストーブコレクション及び関連資料
- 石炭ストーブ一覧

11. 機械部品鋳物生産の拡大

- 昭和27年特産品一覧

- ・京浜重工業とともに発展
- ・大機械工場の進出
- ・工場における機械設備の普及
- ・川口鋳物業の最盛期
 - ・鋳物工場数 664 軒（昭和 21 年）、636 軒（昭和 36 年）
 - ・市議や県議が多数
 - ・日活映画『キューポラのある街』（昭和 37 年）
- ・職人から熟練的職工、そして職工へ～民俗技術の行方
- ・徒弟制度や渡り慣行の衰退